

国連開発計画(UNDP)主催イベント

第2回SDGs×Youth

～未来のあたりまえをデザインする～

ご案内



Empowered lives.
Resilient nations.

2030年、どんな世界に暮らしたいですか。

国連開発計画(UNDP)は、学生および若手社会人とともに持続可能な社会を考えるイベントを6月16日(土)に開催します。2030年には社会の中核を担う若者世代が未来の社会に向けて考え、トークショーやワークショップで多様な考えに触れることで持続可能なあたりまえを描き、動き出すきっかけになればと考えています。

第1部のトークショーでは、独自の方法で社会課題に取り組む社会起業家や学生が大集結!アフリカの花やデザイン雑貨の販売、知的障がい者によるアート作品のプロダクト制作、難民やLGBTの暮らしやすい社会づくり、環境問題への提言、ITや金融、医療の力を途上国の問題解決に活かす取り組みなど、よりよい社会の実現に向けユニークな活動を行う20代・30代の先駆者から明日へのヒントを得ます。第2部のワークショップでは参加者が小グループに分かれ、2030年に向けたビジョンや具体的な行動をデザインします。



「持続可能な開発目標(SDGs)」とは、世界を変えるため、2030年までに達成すべき17の目標をまとめたものです。「貧困をなくそう」「産業と技術革新の基盤を作ろう」「人や国の不平等をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」など、様々なテーマが含まれ、いま、日本を含む世界の全ての国が取り組んでいます。達成するためには、政府だけではなく企業や一般の人々も含めた全ての人がそれぞれの知恵や経験を活かし、協力し合うことが鍵となっています。

SDGs時代を築いていく同世代の仲間と未来をデザインしてみませんか。ぜひ奮ってご参加下さい。

開催概要

日時 : 2018年6月16日(土)13:00-17:00 (開場12:30)

場所 : アクセンチュア・イノベーション・ハブ東京

(東京都港区三田一丁目4番1号 住友不動産麻布十番ビル8階)

参加費 : 無料

言語 : 日本語

対象 : 学生・若手社会人

定員 : 先着100名

申込方法: [こちら](https://bit.ly/sdgyouth2018)(bit.ly/sdgyouth2018)よりお申し込み下さい。

主催 : 国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所

協力 : アクセンチュア株式会社、株式会社博報堂、学生ボランティア有志

HP : www.jp.undp.org



登録サイトへの
QRコード

※会場には自動販売機などがございません。飲み物をご自身でご用意ください。(できればマイボトルで!)

※また、会場内では、主催者や取材メディアによる写真や動画撮影が行われる予定です。会場内の参加される皆さんが映り込む場合があります。それらは、イベント終了後の広報物、取材メディアにて掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各自筆記用具を持参してください。

※手話通訳、要約筆記など参加に関してご要望やご相談がある場合は、6/7(木)までに申し込みフォームにその旨ご記載ください。また、お子様を連れての参加も歓迎致しますが、託児サービスや専用スペースはございませんのであらかじめご了承ください。

プログラム

第1部 トークショー

様々な社会課題に対し多様な切り口で取り組むスピーカーが、それぞれの活動や哲学、その背景にある社会課題を語ります。

13:00-13:10 ご挨拶 国連開発計画(UNDP)近藤哲生駐日代表

13:10-13:45 トークショー①(A・Bの2セッションを同時進行)

13:55-14:30 トークショー②(C・Dの2セッションを同時進行)

セッションA 「デザインのチカラ」



アフリカデザインや知的障がい者のアートなど、あまり知られていないデザインをプロダクトとして表現する、多様な人と一緒に課題解決の手法をデザインするなど、さまざまな形で持続可能な社会の実現に向けてデザインが果たすチカラについて考えます。

スピーカー:

ナカタ マキ(Maki & Mpho LLC共同創業者・代表)
大田 雄之介(MUKU セールスプロモーター)
加藤 翼(100BANCH コミュニティ・マネージャー)

モデレーター:

小田部 巧(HAKUHODO INC.
ストラテジックプランニングディレクター)

セッションB 「自分を発揮できる社会」



難民の社会活躍サポート、LGBTに関するイベントや情報発信、医学を通じた社会貢献を行う団体の活動を通して、ひとりひとりが自分を発揮できる公正な社会について考えます。

スピーカー:

山本 菜奈(NPO法人WELgee 就労事業統括)
松岡 宗嗣(一般社団法人fair 代表理事)
笠井 俊佑(国際医学生連盟(IFMSA) 日本代表)

モデレーター:

東 由紀(アクセンチュア人事部シニア・マネージャー)

OR

セッションC 「環境とビジネス」



ケニア直送のバラを日本に届ける起業家、環境問題に取り組む学生、サステナビリティに関わる取材を続けるライターと共に、環境や貧困問題への課題とアクション、そしてビジネスとの接点と可能性を探ります。

スピーカー:

萩生田 愛 (AFRIKA ROSE 代表)
新莊 直明(Climate Youth Japan 国内政策事業統括/
NPO法人アラジ 理事)
松尾 沙織 (SDGsライター/ダイベストメントコミュニケーター)

モデレーター:

小田部 巧(博報堂 ストラテジックプランニングディレクター)

セッションD 「ITが変える世界」



IT技術が世界を大きく変える中、ITと国際開発の専門家や、タイ発のオンライン決済サービスの事業開発者、社会的投資におけるIT活用の実践者の活動をもとに、開発途上国や社会開発におけるITの可能性と課題について議論します。

スピーカー:

狩野 剛(JICA職員、ICT4D.JP代表)
上坂 明日香(Omise Japan ビジネスデベロッパー)
伏見 崇宏(C4 ディレクター)

モデレーター:

加治 慶光(アクセンチュア チーフ・マーケティング・イノベーター)

OR

第2部 ワークショップ

14:40-16:15 ワークショップ

トークショーで得たヒントをもとに未来の「あたりまえ」について具体的な行動をデザインします。

前半は、参加者一人ひとりが自分にとって重要な社会課題や取り組み方について考え、「My SDG」を作成。後半は、参加者同士「My SDG」を共有した後、今の社会の課題と未来に向けてつくりたい「あたりまえ」をグループごとに話し合い、考えを深めます。そして、グループごとに「行動宣言～未来のあたりまえ～」にまとめます。

第3部 プレゼンテーション

16:15-17:00 各グループの「行動宣言～未来のあたりまえ～」の発表

登壇者プロフィール



セッションA 「デザインのチカラ」



ナ
カ
タ
マ
キ

Maki & Mpho LLC共同創業者・代表

アフリカの柄と日本のモノづくりの要素を融合した、インテリア・ファッション雑貨のデザインブランド「MAKI MPH0 (マキムポ)」の企画・販売を手がけるとともに、世界各地で活動するアフリカ系クリエイティブ起業家の動向を追い、協業および取材を行う。コンサルティング会社、大手ブランド会社を経て起業。



大
田
雄
之
介

MUKU セールスポモーター

“ちがう視界から、ちがう世界を描き出す”をテーマに、知的障がい者などのアーティストの作品を、日本の職人が手掛ける傘や文具などのプロダクトに落とし込み、社会に提案するブランドMUKUにて、六本木アートナイト、国立新美術館の展示会、代官山蔦屋書店のフェアへの参加など、福祉の枠を越えた精力的な活動を行う。



加
藤
翼

100BANCH コミュニティ・マネージャー

株式会社ソフトウェアにて、Panasonicと共同運営するインキュベーションスペース「100BANCH」にてコミュニティ・マネージャーを務める。学生時代にはIMF・世界銀行総会日本代表ユースなど、国際会議の代表を歴任し、新卒で外資系コンサルティング会社に就職。働きながら通信制の美大でデザインアプローチを学び、現職へ。Global Shapers横浜ハブ所属。



セッションB 「自分を発揮できる社会」

山
本
菜
奈



NPO法人WELgee 就労事業統括

WELgeeにて、多様な人が暮らすシェアハウスの運営や、難民の人による難民の人向けのプログラミング教室、難民のスターを輩出するハンズオン支援を通じて、夢あふれる難民の若者たちの自立と自己実現の後押しを行う。小中高を欧米で過ごし、ネパールの山岳民族の若者との出会いから、多様な人の社会活躍に関心を抱く。カナダ留学、北海道での産業振興インターンシップを経て現職。早稲田大学国際教養学部在学中。

松
岡
宗
嗣



一般社団法人fair 代表理事

ゲイであることをオープンにしなら、HuffPost等でLGBTに関する記事を執筆。学生時代から教育機関や企業、自治体等で多数研修や講演を行う。2015年、明治大学でLGBTを理解・支援したいと思う「ALLY(アライ)」を増やす日本初のキャンペーンMEIJI ALLY WEEKを主催。fairでは、どんなジェンダーやセクシュアリティでもフェアに生きられる社会を目指し、LGBTに関する政策や法制度を中心に情報を発信している。

笠
井
俊
佑



国際医学生連盟 (IFMSA) JAPAN 代表

途上国でのフィールドワークや厚生労働省での研修を通じて医療と社会の連携の在り方を模索するとともに、IFMSA-Japanの代表として医療系学生から市民への保健教育や啓発活動を推進。国際保健への興味から、2015年に国際医療系学生NGOのIFMSA(イフムサ)に加入し、2018年より日本支部IFMSA-Japanの代表を務める。東北大学医学部医学科5年次在学中。



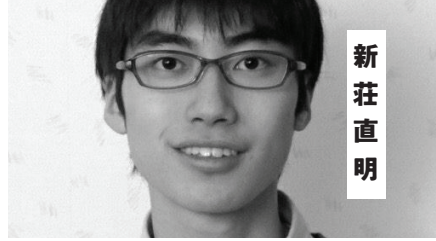
セッションC 「環境とビジネス」



萩生田愛

AFRIKA ROSE 代表

最高品質の薔薇をアフリカ・ケニアから世界へ届ける、AFRIKA ROSE代表。理念は、力強く咲く、大きく、色鮮やかで繊細なアフリカのバラを世界に届け、その結果、アフリカから貧困をなくすこと。日系大手製薬会社を経て、ボランティアとしてケニアへ渡り2012年にオンラインショップ「アフリカの花屋」を起業。クラウドファンディングで資金を調達し、2015年広尾に店舗をオープン。著書:アフリカローズ～幸せになる奇蹟のバラ～(ポプラ社)



新莊直明

Climate Youth Japan 国内政策事業統括/
NPO法人アラジ 理事

大学院で化学を研究するかたわら、気候変動問題の解決を志す若者の団体 Climate Youth Japanで、環境省・経済産業省への政策提言などに携わる。また、西アフリカのシエラレオネ共和国で就労支援を行うNPO法人アラジの理事として、国内イベントの責任者を務める。夢は研究と社会の架け橋になり、アフリカをフィールドにして環境問題の解決に貢献すること。東京大学大学院修士2年。



松尾沙織

SDGsライター/
ダイベストメントコミュニケーター

ダイベストメントコミュニケーター

フリーランスのライターとして、「SDGs」や「サステナビリティ」「エシカル消費・金融」を紹介する記事を執筆。国際環境 NGO 350.org Japanのダイベストメントコミュニケーター。2011年の震災をきっかけに、アパレル企業を5年で退社。NPO法人グリーンズにてライターインターンを経て、編集学校を卒業。green drinks Japan事務局を経て、green drinks Harajukuのオーガナイザーを務める。



セッションD 「ITが変える世界」



狩野剛

JICA(国際協力機構)職員/
ICT4D.JP代表

JICA本部、JICAバングラデシュ事務所、米国留学を経て、現在はJICAのIT改革を担当。ICT for Development (ITと国際開発)に関する情報サイトICT4D.JP代表。民間企業でのITコンサルタント業務を経て、趣味の途上国旅行と専門のIT技術を繋げて付加価値が出せないかとJICAに転職。University of Michigan 博士課程在籍。



上坂明日香

Omise Japan ビジネスデベロッパー

東南アジア発FinTechスタートアップ Omiseの日本子会社にて、オンライン決済サービスの事業開発やブロックチェーン特化型コワーキングスペースの立ち上げに従事。大学時代、ケニアでのNGOインターン中にモバイル送金サービスM-PESAの影響力を肌身で感じ、新卒入社したメーカーを2年で退職し、2016年より現職。



伏見崇宏

C4 ディレクター

革新的な金融ソリューションで社会変革を目指すC4にてディレクターを務め、日本のソーシャルセクター成長とコミュニティ間の協創のために、異なる業界間のステークホルダーの連携に取り組む。海外滞在が長く、日本がその本質を活かし、世界に対してどのように貢献できるかに興味を持つ。国際会議への参加、教育系NPO立ち上げ、多国籍コングロマリットでの勤務を経て、2016年末にC4へ参画、2017年より現職。

第1部 トークショー モデレーター

セッション A&C



小田
部
巧

博報堂

ストラテジックプランニングディレクター

博報堂にて、国内クライアントを中心に、マーケティング戦略からエグゼキュションまでのトータルなコミュニケーションデザインを行う。NPO活動にも携わっており、業務においても企業や行政、市民などマルチステークホルダー型のプロジェクトもファシリテーター。最近では、SDGsの17の目標の1つである「つくる責任つかう責任」をテーマにした「未来を変える買い物企画Earth Mall」を推進。

セッション B



東
由
紀

アクセンチュア

人事部 シニア・マネジャー

アクセンチュアの人事部門にてタレント・ディベロップメントの責任者としてリーダー育成とインクルージョン&ダイバーシティの推進を統括。外資系の金融情報通信会社を経て、リーマン・ブラザーズ証券に勤務、2008年より野村證券のリサーチ部門で同業務を担当する傍ら、LGBTなど性的マイノリティを支援する「アライ」としてLGBT社員ネットワークのリーダーを経て、2013年から人材育成の分野にキャリアチェンジし現職。

セッション D



加
治
慶
光

アクセンチュア

チーフ・マーケティング・イノベーター

デジタルやイノベーションを背景とし新たな「官と民」等の連携をグローバルに実現するイノベーション活動を推進。富士銀行、広告会社、コカ・コーラ、ソニー・ピクチャーズ等を経て日産自動車にてNISSAN GT-R等高級車戦略を指揮。2016東京オリパラ招致委員会に出向。後Nissan LEAF世界導入に参画。首相官邸国際広報室参事官として、震災対応、SNS、2020招致、ダボス会議等を担当。2014年より現職。ケロッグ・クラブ・オブ・ジャパン会長。グロービス准教授。Slush Asia 2016 共同CMO、観光庁マーケティング戦略委員。

第2部 ワークショップ ファシリテーター



柏
木
望

博報堂コンサルティング

ビジネスプロデューサー

博報堂コンサルティングにて、人材教育事業に従事。企業向け研修プログラムの開発運営・講師、及び事業戦略構築の場において、ワークショップの設計・ファシリテーションを担当。また携わっているNPO活動では、大学生によるプロジェクトの企画～実行までのアドバイザーを行っている。

国連開発計画 (UNDP) とは

国連開発計画(UNDP)は貧困の根絶や不平等の是正、持続可能な開発を促進する、国連の主要な開発支援機関です。「国家にとっての真の宝は人々である」という信念に基づき、人々や国々の能力を育てる活動を170以上の国・地域で行っています。

国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所

住所: 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53-70 UNハウス8F

電話: 03-5467-4751 / FAX:03-5467-4753

www.jp.undp.org